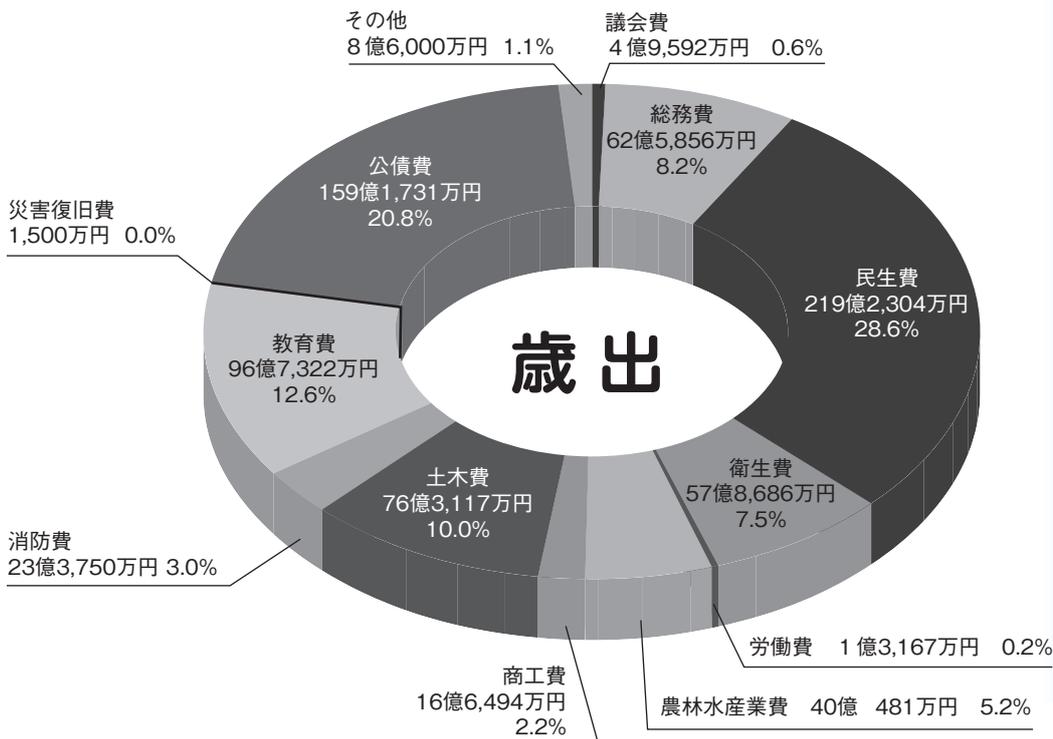
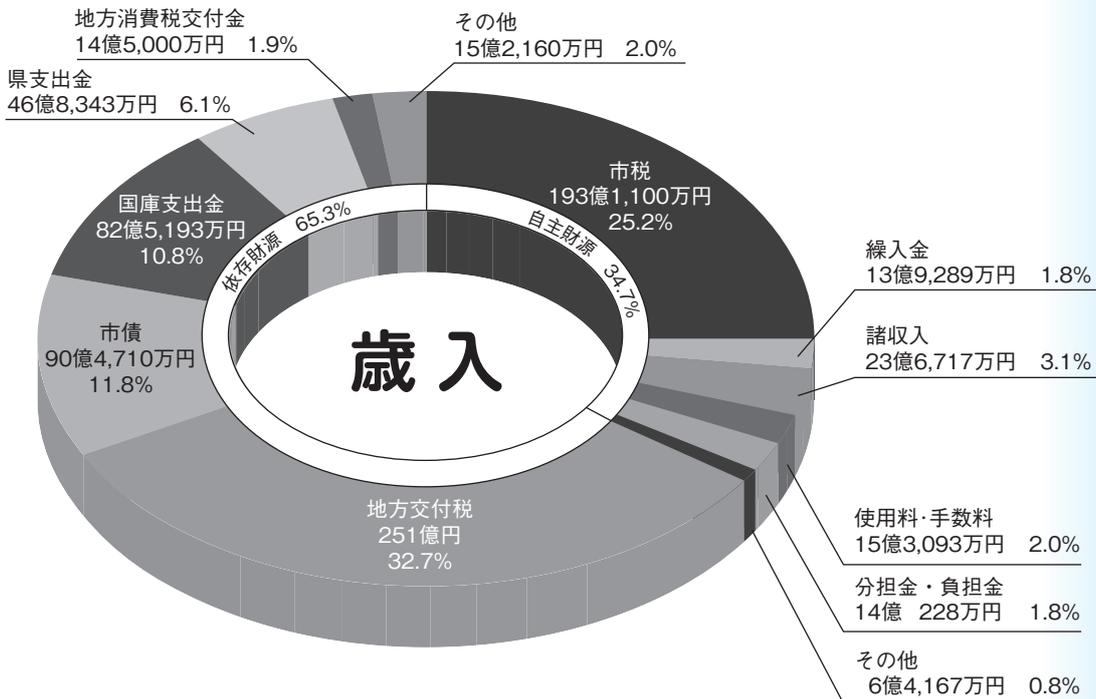


歳入・歳出構成内訳

平成24年度(2012)

一般会計当初予算 767億円



当初予算編成の基本的な考え方

3月定例市議会にて、平成24年度の当初予算が決まり、一般会計は合併した旧斐川町分も含めた平成23年度に比べ、1・2%減の767億円、特別会計を加えた総額は、0・2%減の1,237億5,832万5千円となりました。

長引く経済不況等の影響により市税の増収が見込めない状況であり、さらに歳入の約3割を占める地方交付税については、合併算定替による特別加算が今後段階的に減額され、一般財源が大幅に減少する見通しとなっています。

このため、平成24年度の当初予算編成において

企業会計

水道事業会計

収益的収支	収入	26億1,999万円
	支出	25億3,693万円
資本的収支	収入	5億9,202万円
	支出	22億4,744万円

病院事業会計

収益的収支	収入	28億9,885万円
	支出	33億1,394万円
資本的収支	収入	1億5,957万円
	支出	2億6,981万円

※収益的収支は1年間の営業収支。資本的収支は、設備投資などに伴う収支。資本的収支における収入不足額は、損益勘定内部留保資金等（積立金など）で補てんします。

予算額は千円単位で四捨五入

特別会計470億5833万円

国民健康保険事業	172億4,600万円
国保橋波診療所事業	1,020万円
診療所事業	9,170万円
後期高齢者医療事業	33億9,200万円
介護保険事業	147億1,280万円
簡易水道事業	18億 300万円
下水道事業	66億1,600万円
農業・漁業集落排水事業	24億6,800万円
浄化槽設置事業	1億5,380万円
風力発電事業	3,190万円
ご縁ネット事業	9,230万円
企業用地造成事業	3億2,500万円
駐車場事業	9,350万円
住宅新築資金等貸付事業	253万円
高野令一育英奨学事業	260万円
廃棄物発電事業	1,700万円
合計	470億5,833万円

基金現在高見込(普通会計)

単位：百万円

区分	平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度末 見込額	平成24年度末 見込額
財政調整基金・減債基金	4,015	4,492	4,669	3,699
その他基金	5,369	5,851	3,858	4,210
合計	9,384	10,343	8,527	7,909

地方債現在高見込(普通会計)

単位：百万円

区分	平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度末 見込額	平成24年度末 見込額
地方債発行額	9,167	9,413	9,746	9,908
地方債元金償還額	12,377	12,572	14,130	13,791
年度末現在高	145,330	142,171	137,787	133,904
内訳	臨時財政対策債	17,813	21,073	23,442
	建設事業等	127,517	121,098	114,345
[参考] 全会計年度末現在高	241,413	239,597	233,782	229,195

※上記数値は、全て旧斐川町分を含んだ数値となっています。

は、「次代に高負担を強いることのない持続可能な財政運営」を基本方針とし、平成17年の合併後初めて当初予算に起債繰上償還（10億円）を計上するとともに、新規発行起債の抑制により公債費負担の適正化に努め、将来を見通した財政負担の平準化を図ったところで、その上で、開かれた市政の実現をめざす中で、学校施設の耐震化等の安心安全なまちづくり、斐川中央工業団地の整備や観光誘客推進など産業・観光振興における新たな取り組みに必要額を計上するとともに、斐川町との合併による新出雲市としての一体感の醸成が早期に図られるよう配慮した予算の編成を行いました。